

動く世の中、視点を変えれば見えてくるものがある。ホンネで言いたいことがある。



瓦ばん!

平成27年10月1日発行 季刊

発行責任者: 根っから地元派 ばん よしはる
ban-4@ares.eonet.ne.jp

第32号

こんにちは、ばんよしはるです。これから秋が深まる中、秋の斑鳩が訪れようとしております。しかし、朝晩の寒暖の差が大きいので、くれぐれも健康管理に気を付けてください。

この9月議会で議会決議したことや、役場から報告があったことを報告させていただきます。

まず、初めに、国道25号線の歩道設置事業の西和医療センター前の歩道については、地権者の協力が得られ、拡張工事が行われており、通行しやすくなってきています。病院前というのに非常に危険な歩道でしたので、これにより危ない思いをすることが少しでも少なくなると思います。

それと、竜田川と大和川の合流地点の神南側の町道も地権者の協力が得られ拡幅されました。この部分は非常に見通しが悪いうえに道幅が狭くなっていたうえにいかるがパークウェイの一部供用開始により交通量が増えてきておりましたので、一日も早い町道拡幅を訴えてまいりました。

次に、誰もが平等に教育が受けれるように、スクールサポート事業を来年度2学期から開始したいと教育委員会から説明があり、対象は町立学校に在籍する児童生徒で、小学校は4年生から6年生、中学校は1年生から3年生が対象となり、指導内容は小学校は国語・算数、中学校は数学・英語で、指導員は教員退職者、大学生、大学院生が学校の教室等を使い小学校は週2回中学校は週1回（平日の午後4時から6時まで）で検討しているとのことです。

次に、空家等に関する相談をワンストップで応じることのできる体制になりました。これらの総合相談窓口は総務課です。これにより一つの窓口で相談するだけでよくなります。

このような、各部にまたがる事案については従来の煩雑さを避け、このように対応してもらえるように働きかけていきます。

最後に、これから地域集会所施設を新築する場合に、建築単価の上限に関する規定を新たに設けるのもので、補助の対象として建築単価は平米20万円までとして、支援の基準が明確になりました。皆さんが集う場として自治会の集会所は必要ですが、建て替えの時期を迎えている建物も多く、持続性を持たせるために要綱改正することになりました。

今日より、少しでも明日が良くなる「まち」にするために。

「まち」の未来は、住民一人ひとりの想いで変えられるということです。



この「瓦ばん!」では町議会議員の毎日の中で感じたこと、活動や思ったことを紹介していきますので、皆様からのご意見・ご感想がありましたら、お知らせ下さい。宜しく願いいたします。